二〇二二年度　大妻中野中学校　第四回アドバンスト入試
第二回グローバル入試

二月三日午前　問題用紙

国語

座席番号
番

受験番号	
番	氏名

受験上の注意

（一）この問題用紙は表紙を含めて全部で12ページあります。
（二）試験開始後ただちにページ数を確認してください。
（三）問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を忘れずに記入してください。
（四）座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
（五）試験時間は五十分です。
（六）解答はすべて解答用紙に記入してください。
この試験は百点満点です。

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（ただし、句読点や記号も一字に数えます。）

①ニューヨークに住みついて、まず困ったことは、人の顔がなかなか覚えられないことだった。紹介されても、すぐに顔を忘れてしまう。それだけではない。女性を見ても、それが美人なのか美人でないのか見当がつかない。

アパートには、トムと一緒に住むことになった。マリンダというトムのガール・フレンドが、しばしば訪れてくる。彼は「どう、彼女は美人だろう」と私に毎回たずねる。②「うん、うん」と返事はするが、実のところ、よくわからない。わかるのは、小柄で、ブロンドの髪ということぐらいである。

こうして暮らしはじめて、「美人を見た」とはじめておもったのは、半年ほどたってからである。③その時のことは忘れられない。いつものように、実験をすませてから、夜九時ころ、教室の図書室へ文献をさがしにいった。図書室は、いつも十一時まで開いているが、正規の職員は五時になると帰ってしまう。それで、それ以後はアルバイトの学生が受付にすわっている。

図書室に入っていって驚いた。受付に、いままでに見たこともないような美人がすわっていたのだ。薄暗い図書室が輝いて見えた。図書を借りるとき、口がきけなかった。友だちにきくと、トルコからきた他学科の留学生だという。

その留学生は、その後もときどき受付にすわっていた。美人というのは素晴らしい。眺めているだけで人生を楽しくしてくれる。だが残念なことに、しばらくすると、その留学生は姿を消してしまった。図書室でもキャンパスでも、その後、見かけることはなかった。

不思議なことに、そのころから、私は、キャンパスや街を歩いていて、しばしば美人に出会うようになった。ニューヨークに住んで半年、ようやく、美人とそうでない人との区別がつくようになったらしい。そして、そのころようやく、人の顔もよく覚えられるようになってきた。

ニューヨークには、じつにさまざまな人たちがいる。肥った人、痩せた人、大柄な人、小柄な人、黒髪の人、金髪の人……。私が最初に美人と感ずる女性は、黒髪で黒い瞳の中近東や、イタリア、スペインのような南欧系の女性たちだった。

研究室には、英国系の女性が三人、フランス系の女性が一人いたけれど、彼女たちが、美人かそうでないのか、見当がつかなかった。見当がつくようになったのは、南欧の女性たちに美人を見かけるようになって、しばらくしてからである。さらに、金髪、碧眼の北欧系の女性たちに美人を見かけるようになったのは、もっとたってからだった。

こうしてみると、人の顔を識別したり、評価したりするのには、それ以前にまず、おおぜいの人たちの顔を見ることが必要らしい。

帰国してから、むかしの友人たちが、しばしば日本に尋ねてきてくれたが、彼らが一様に嘆いたのは、④紹介される日本人の顔が覚えられないということだった。街を歩いていても、日本人の顔がみんなおなじに見えるという。私のニューヨークでの、かつての体験と、まったくおなじことをいう。

私たちは、ヒツジの群のなかから個々のヒツジを見わけることはできないが、羊飼いにはできる、とよくきく。それは、羊飼いはいつもヒツジを見ているからである。個体の識別には、まず、たくさんの個体を見ることが必要なのだ。

⑤コンピューターに、おおぜいの女性の顔のパターンを入力して、重ねあわせていく。すると、入力する顔の数が多ければ多いほど、できあがった顔が美人になるという。してみると、美人の顔というのは、人として、もっとも標準的、平均的な女性の顔ということになる。

人はみんな、生まれてこの方、数え切れないほどのおおぜいの人の顔を見ている。もしかすると、私たちの脳の神経回路にも、コンピューターとおなじように、一人一人の顔のパターンが記憶され、重ねあわされているのかもしれない。

おそらく、個々の人の顔を的確に記憶し、識別、評価するには、脳にすでに顔の標準パターンが確立されていなくてはならず、それにはまず、たくさんの人の顔を見なくてはならないのだろう。

視神経にはたくさんの神経細胞があるが、それぞれ役割が分化していて、人の顔だけに反応する細胞があるという。そのなかに、さらに、輪郭をとらえるものや、目の形、口の形をとらえるものなどが分化しているという。顔を見た瞬間、顔の特徴は、このように分化した視神経によってとらえられる。そして、脳に伝えられてから統合されて、一つの顔として認識されるらしい。

おそらく、視神経によって伝達される顔のパターンは、まず個々の部分で、脳の顔の標準パターンと照合されるのだろう。そして、標準パターンとの〝ずれ〟が、その人の顔の特徴として認識され、記憶されるのだろう。少なくとも、コンピューターではそうである。

顔は、ちょっと変わった、[　　]のある顔のほうが覚えやすい。それは、標準パターンとの〝ずれ〟が大きければ大きいほど、識別しやすく記憶しやすくなるからだろう。標準パターンに近い顔は、どちらかといえば覚えにくい。美人の顔というのは、美人だったということだけは記憶されるが、記憶しにくい顔なのかもしれない。

はじめてのニューヨークで、アメリカ人の顔がなかなか覚えられなかったのは、私の脳にまだ、アメリカ人の顔の標準パターンが確立されていなかったためだろう。おそらく、すでに確立されていた日本人の顔の標準パターンは役立たなかったものとおもわれる。

けれども、ニューヨークで、毎日くり返しくり返しアメリカ人の顔を見ているうちに、私の日本人の顔の標準パターンのうえに、アメリカ人の顔のパターンが重ねられて、国際標準パターンができあがったに違いない。その結果、アメリカ人たちの顔も見わけられるようになったのだろう。

私が子どものころは、戦争中で、欧米人の顔を見る機会などほとんどなかった。テレビはなかったし、外国映画が上映されることも、まずなかった。で、私の脳には、人の顔の国際標準パターンが育っていなかったのだ。

けれども、いまの若い人たちは違う。幼いころからテレビや外国映画を見て育っているし、街なかでもいつも欧米人の顔を見ている。おそらく、⑥ニューヨークへいっても、すぐにアメリカ人たちの顔を識別、評価できるにちがいない。

ところで、これは私の感じだが、美人かそうでないか、といった評価ができるようになるのは、たんに顔を識別して記憶するより、もっと時間がかかることのようである。多分、評価には、識別よりもっと、はっきりした標準パターンの確立が必要なのだろう。

最初に評価できたのが、小柄で黒髪、黒い瞳の中近東や南欧の女性だったこと。そして、次第に、大柄で、金髪、碧眼の北欧の女性も評価できるようになっていったことは、私の顔の標準パターンが、日本人用から国際用に、次第に修正されていった過程をしめしているような気がする。

さて、⑦男性はなぜ美人を好むのだろう。もっとも、美形を好むのは男性ばかりではない。女性もまた、醜男よりハンサムの男のほうを好むようである。よく世間には、「男は顔ではない、男の顔はついてさえいればいい」という人がいるが（そういうのはたいてい男性で、多分、自分のことをいっている）、やっぱり、男もハンサムのほうがいい、と女性はいう。

要するに、ヒトは（男性も女性も）、自分の脳のなかの標準パターンに近い顔を好むのだ。好き嫌いは、視覚によるパターン認識の問題である。これは決して、ヒトだけではない。視覚の鋭い動物は、たいてい、相手をえらぶとき、恰好で好き嫌いを決めている。

1、トリである。ツバメは繁殖期になると、つがいになって、子どもを育てる。つがいになるとき、ツバメも相手をえらぶ。その選択権は、どちらかといえば、雌がもっている。このとき、雌は雄の恰好を見てえらぶらしい。ツバメの世界では、尾羽根の長い雄が恰好いいのだという。

このことを、実験で確かめた研究者がいる。繁殖期の前に、ツバメの雄をつかまえて、その尾羽根を切る。それを強力接着剤でつなげて、平均の尾羽根より二センチ長いものと、二センチ短いものとをつくって、群にもどしてみた。

2、尾羽根の長い雄は、繁殖期になるとすぐにつがいをつくって、巣作りをはじめた。ところが、尾羽根の短いほうは、いつまでたってもつがいの相手が見つからない。尾羽根の短い雄はもてないのだ。

3、⑧ツバメの雌は、なぜ、尾羽根の長い雄をつがいの相手としてえらぶのだろう。こうした疑問にこたえるとき、生物学者は、しばしば合目的的に、尾羽根の長いのは、なにか生物学的利点があるのだろうと考える。

ツバメの死因を調べると、寄生虫に侵されて死ぬものが多い。そこで、ツバメに寄生する寄生虫の数と、尾羽根の長さとの相関を調べてみた。すると、尾羽根が長いものは、短いものにくらべて、寄生虫の数が少なかったという。

4、ツバメが人間の医者のように、ほんとうに、見た目で寄生虫の有無や数までチェックしているだろうか。できすぎた話のような気がする。ツバメは、もっと単純に、視覚によるパターン認識で相手をえらんでいるのではなかろうか。

ベルリンの動物園で、春にツバメがとんでくると、囲いのなかのトリたちが恐慌をおこすという話があった。これをきいて、動物行動学者のローレンツたちはその理由を調べてみた。すると、アヒルやニワトリのような大きなトリでも、首の短いトリがとんでくると、警戒したり、恐慌をおこすことがわかった。

ワシにしてもタカにしても、首の短いトリには＊1猛禽類が多い。トリたちは、飛翔するトリのパターンを瞬時に見わけて、それが危険な捕食者か、そうでないかを判別するのだろう。ツバメは小さいけれど、首が短くて、尾が長い。とんでいる恰好は、一見、猛禽類のように見える。それで、ほかのトリたちがツバメを見て恐慌をおこすのだという。パターン認識である。

ツバメが、なぜ、尾羽根の長いものをつがいの相手にえらぶか、という話にもどろう。空をとんでいるツバメの恰好は、ほかのトリたちを恐れさ

せても、ツバメたちにとっては仲間であることを知らせる安全のパターンだろう。

尾羽根が長いほど、仲間としてすぐに識別されやすく、目印として重要なのかもしれない。もし、そうなら、尾羽根の長い雄は、つがいの相手として、雌たちにまず、安心感をあたえているのだろう。

さて、話題をもとの人の美人好きの話にもどそう。もし、美人が人の顔としてもっとも標準的なパターンなら、美人を見たり、美人といるとき、人は、ツバメとおなじように、安心し幸せを感じることだろう。それで、美人を好むのかもしれない。

標準パターンに近い顔は、見たときに修正する〝ひずみ〟が少ない。脳は修正なしに見つめることができる。それは、神経に余計な負担をあたえなくてすむ。それが安らぎ感や幸せ感となって、人は美人を好むのではなかろうか。

好みの問題は、しかし、一筋縄ではいかない。みんなが美人だとおもう人は確かにいるけれど、多少、人によって好みがちがう。「⑨たで喰う虫も好きずき」である。これはなぜだろう。

おそらく、⑩顔の標準パターンには、人によってそれぞれ少しずつ違いがあるのだ。コンピューターで顔の標準パターンをつくるとき、入力する顔は非選択的である。おなじ顔が、何回も何回もくり返し入力されることはない。

しかし、個々の人たちの見る顔は、選択的である。生まれたばかりの赤ちゃんは、くり返しくり返し、お母さんの顔ばかり見る。物心つくころには、となりのミヨちゃんの顔を見る機会も多くなることだろう。

乳幼児期は、記憶の〝刷りこみ〟がつよいから、この時期にくり返し見た顔は記憶につよく刻みこまれる。成長してからも、もっともしばしば見るのは、家族や、友だちや、まわりの社会の人たちの顔である。

こうして、人はそれぞれ、コンピューターとはちがった自分独自の顔の標準パターンを形成する。この違いが、たぶん、「たで喰う虫も好きずき」となってあらわれるのだろう。

一方、⑪人の顔には、ヒトの顔としての共通性がある。したがって、つくられる顔の標準パターンは、当然、共通性ももつ。そこで、「たで喰う虫も好きずき」の一方で、やはり、みんなが美人だと感じ入る人もいることになる。

たでの葉は噛むと辛いという。そんな葉っぱでも、好んで喰べる虫がいる。好みというものはさまざまである。だが、そうした多様な好みのおかげで、自然界にバランスがたもたれている。

顔の好みにも多様性があるおかげで、この社会に、多少なりとも平穏がたもたれているのかもしれない。

（柳澤 嘉一郎『ヒトという生きもの』草思社より）

〔注〕 ＊1 猛禽類…大型で速く飛び、鋭いくちばしとつめを持ち、小鳥や小動物を捕食する鳥。

問一　――部①「ニューヨークに住みついて、まず困ったことは、人の顔がなかなか覚えられないことだった」について、もう少し先まで文章を読んでから、次の(1)・(2)の質問に答えなさい。

(1) ニューヨークでの「私」（文章の書き手）の体験をA～Dのカードにまとめてみました。――部にあるような「人の顔がなかなか覚えられない」状態に変化が起きたのは、A～Dのどのカードと同じころですか。A～Dの中から一つ選び、記号で答えなさい。

カード

A
英国系やフランス系の女性が美人かそうでないか、見当がつくようになった。

B
黒髪で黒い瞳の中近東や、イタリア、スペインのような南欧系の女性を美人と感じるようになった。

C
金髪、碧眼の北欧系の女性たちに美人を見かけるようになった。

D
トルコからの留学生を図書室で見て美人だと思った。

(2) 右のA～Dのカードを時間の順序に従って並べかえなさい（A～Dの記号で答えること）。

問二　――部②『うん、うん』と返事はするが、実のところ、よくわからない」とありますが、そこからは「私」のどのような感情が読み取れますか。適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア．きがかり　　イ．がっくり　　ウ．とまどい　　エ．びっくり　　オ．あせり

問三　――部③「その時のことは忘れられない」とありますが、「その時」の「私」は周（まわ）りの様子をどのように感じていますか。比喩（たとえ）を使って表現している一文を本文中から抜き出し、そのはじめの三字を答えなさい。

問四　――部④「紹介される日本人の顔が覚えられない」とありますが、日本人の顔が覚えられるようになるには、どのような体験が必要だと筆者は考えていますか。文末が「～体験。」となるように十五字以内で答えなさい（句点「。」も一字に含みます）。

問五 ——部⑤「コンピューターに、〜美人になるという。」には、このあと筆者が推測する様々な事柄の根拠が示されています。**筆者が推測している内容ではないもの**を、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア．人の顔を覚えたり評価したりするには、顔の標準パターンが確立されていなくてはならない。
イ．美人の顔というのは、人として、もっとも標準的、平均的な女性の顔ということになる。
ウ．脳の中ではコンピューターとおなじように、たくさんの顔のパターンが重ねあわされている。
エ．人間の視神経は役割が細かく分化していて、中でも人の顔だけに強く反応する細胞がある。

問六 [　　]にはどのような言葉が入りますか。次の漢字を組み合わせて[　　]に入れるのに最もふさわしい二字熟語を作りなさい。

【漢字】　点　徴　所　欠　長　特　美

問七 ——部⑥「ニューヨークへいっても、すぐにアメリカ人たちの顔を識別、評価できるにちがいない」とありますが、それはなぜですか。答えが「若い人たちの脳の中に□□□□□□□□□□□□□□□ているから。」となるように、「□□□□□□□□□□□□□□□」の部分に本文中から十五字の語句を抜き出して補いなさい。

問八 ——部⑦「男性はなぜ美人を好むのだろう」とありますが、その答えを筆者はどのように考えていますか。次の文が答えとして正しくなるように、空欄にあてはまる語句を本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して答えなさい。

・美人の顔は、ヒトの脳のなかの【 Ⅰ（六字） 】に近いため、神経に余計な負担をあたえず、それが【 Ⅱ（三字） 】感を生むから。

問九 [1]〜[4]に入る言葉としてそれぞれ適切なものを、次のア〜カから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア．では　　イ．そして　　ウ．すると　　エ．しかし　　オ．なぜなら　　カ．たとえば

問十　――部⑧「ツバメの雌は、なぜ、尾羽根の長い雄をつがいの相手としてえらぶのだろう」とありますが、この問いに対する作者の考えとして適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア．尾羽根が長い雄は、短いものにくらべて、ツバメにとって最も死因になりやすい寄生虫の数が少ないから。
イ．尾羽根が長い雄は、アヒルやニワトリなどの大きなトリにも警戒され、恐慌をおこさせるくらい強いから。
ウ．尾羽根が長い雄は、ワシやタカなどの猛禽類に見えるため、危険な捕食者におそわれることが少ないから。
エ．尾羽根が長い雄は、仲間であることがすぐに識別されやすく、つがいの相手として安心感をあたえるから。

問十一　――部⑨「たで喰(く)う虫も好きずき」の意味として適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア．人の好みはあれこれ異なっている。　イ．人の好みは似たようなものだ。
ウ．人の好みは変わりやすいものだ。　エ．人の好みに影響されてはいけない。

問十二　――部⑩「顔の標準パターンには、人によってそれぞれ少しずつ違いがあるのだ」とありますが、それはなぜですか。本文の内容に合うように二十字以上二十五字以内で答えなさい。

問十三　――部⑪「人の顔には、ヒトの顔としての共通性がある」とありますが、筆者は「人」と「ヒト」とを表記の上で使い分けています。「ヒト」とカタカナで表記しているのはどのような場合ですか。文末が「～場合。」となるように、十五字以内で答えなさい。（句点「。」も一字に含みます）。

問十四　本文の内容と一致しているものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア．人の視神経の中の神経細胞には、人の顔だけに反応するものがある。
イ．美人の顔は標準パターンとの〝ずれ〟が大きすぎるため、記憶しにくい。
ウ．美人か、そうでないかを評価するには、顔の標準パターンの確立が必要である。
エ．男性が美人を好むほどに、女性はハンサムな男性を好んではいない。
オ．ツバメの飛んでいる恰好は、ワシやタカなどとは明らかに異(こと)なっている。

問十五　次の五人の会話を読んで後の(1)・(2)の質問に答えなさい。

〈A〉昨日、姉といっしょにテレビを見ていて、姉が〇〇さんをイケメンだというけれど、僕にはさっぱりそう思えないんだ。

〈B〉私も〇〇さんはイケメンだと思うわ。でも、よくある顔のタイプよね。

〈C〉私は顔でいえば△△さんの方が好きだな。私みたいな人がいるから、人気が偏(かたよ)らなくていいのかもね。

〈D〉おれはイケメンとは言えないなあ。けれど、みんなにはすぐに顔を覚えてもらえるんだぜ。

〈E〉今の世の中は顔で人を評価しすぎだよ。顔の好みは食べ物の好き嫌いと同じで、なるべくなくした方がいいよね。

(1) 五人の中には、本文での筆者の言い分に反する発言をしている人物が一人います。それは誰ですか。A～Eから一人選び、記号で答えなさい。

(2) (1)の解答を選んだ理由として、次の文が正しくなるように□に入る言葉を本文中から三字で抜き出して答えなさい。

作者は人それぞれに顔の好みがあることを前提にして、□がある方がよいと考えているのに、その前提まで否定しているから。

二　次の各問いに答えなさい。

A　漢字に関する問題

問一　次の①～⑤の漢字には、例のように二通りの読み方があります。例に従い、①～⑤の漢字についてそれぞれBの読み方を答えなさい。

例　「牧場」　A「ぼくじょう」　B「まきば」
①　「寒気」　A「かんき」　B「　　」
②　「外面」　A「がいめん」　B「　　」
③　「大家」　A「たいか」　B「　　」
④　「生花」　A「せいか」　B「　　」
⑤　「人事」　A「じんじ」　B「　　」

問二　――部①～⑤のカタカナを漢字に直して答えなさい。

①　今日の天気はあいにくの雨モヨウだ。
②　東北三県のフッコウを支援したオリンピック。
③　忘れ物を引き取りに鉄道のイシツ物係を訪れる。
④　ドローンのソウジュウに慣れた人物を呼び集める。
⑤　あのテンボウ台に上って大海原を見渡そう。

B　ことわざ・慣用句に関する問題

問三　次の枠内のことわざや慣用句は、どれも一部を空欄にした上で、空欄に入る言葉を基準にしてア～オのグループに分けてあります。後にあげる①～⑤のことわざや慣用句はどのグループに入りますか。ア～オからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア
（　　）に雪折れなし
言わぬが（　　）
（　　）掘り（　　）掘り

イ
（　　）車に乗る
（　　）であしらう
（　　）にたこができる

ウ
（　　）つ子のたましい（　　）まで
仏の顔も（　　）度
（　　）の足を踏む

エ
馬子にも（　　）
（　　）に短し（　　）に長し
人の（　　）ですもうを取る

オ
（　　）に引かれて善光寺参り
（　　）の手も借りたい
（　　）の尾を踏む

① （　　）転び（　　）起き
② （　　）から火が出る
③ 捕らぬ（　　）の皮算用
④ （　　）で鼻をくくる
⑤ 無い（　　）は振られぬ

C　言葉づかい・文法に関する問題

問四　①～⑤の文章の中の――部について、後のア～ウの中からそれぞれ最もふさわしい説明を選び、記号で答えなさい。

① 校長先生が話されることは、いつもおもしろくて為(ため)になる。
② そまつな品でありますが、どうぞお受け取り下さい。
③ 明後日の保護者会には父と母がうかがう予定です。
④ その山の奥には大きな大きな杉の木がございました。
⑤ 何でも気づいたことがあれば、ぜひおっしゃって下さい。

ア．敬う気持ちを表す言葉
イ．へりくだる気持ちを表す言葉
ウ．丁寧(ていねい)に伝える気持ちを表す言葉

問題は以上です。